

EDC

上級管理者研修

決めない、受け身ではない“意思決定ができる部長”になる



- 対 象** 部長・事業部長層およびその候補者(専門部長ではない部門経営者)
- 日 程** 2日間
- 最適定員** 16名
- 事前課題** ■ ケーススタディの個人研究 ■ 自組織の課題研究

🕒 カリキュラム

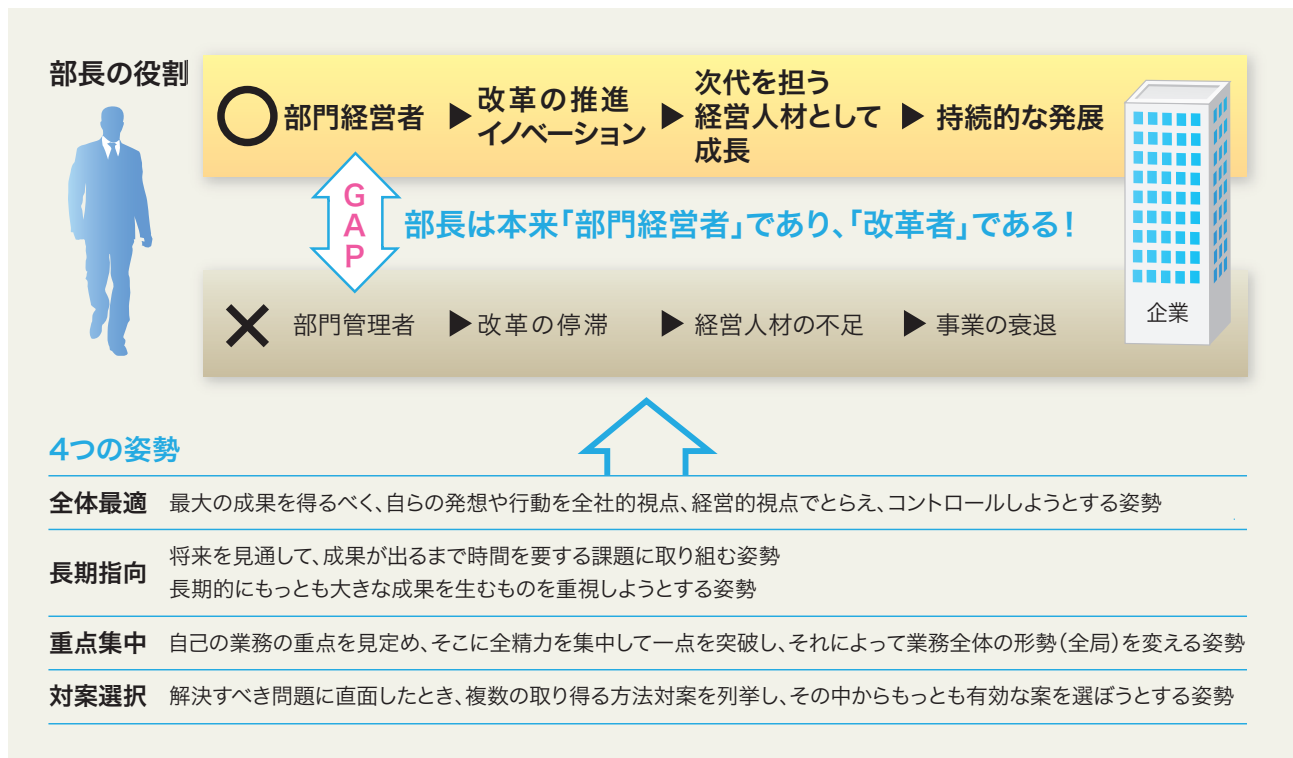
- 1日目**
- オリエンテーション
 - 部長に必要とされる4つの姿勢
 1. 「全体最適」と「長期指向」
ケーススタディ 「アイファイ・ホールディングスのケースA」
個人研究、グループ研究、クラス研究
 2. 「重点集中」と「対案選択」
ケーススタディ 「アイファイ・ホールディングスのケースB」
個人研究、グループ研究、クラス研究
※ケーススタディ A、B両方を活用した場合のカリキュラム例です
 - 1日目のまとめ
 - ・上級管理者に必要な知識・スキルの確認

- 2日目**
- 1日目の振り返り
 - 部長にふさわしい課題形成と意思決定
 - ・個人研究1: 事前課題の重点集中
 - ・個人研究2: 重点課題の対案選択
 - ・グループ内意見交換
 - ・クラス共有
 - 私にとっての部長とは
 - ・研修全体の振り返り
 - ・自分にとっての「部長の役割」を定義する
 - ・個人研究、グループ研究、クラス共有
 - 全体のまとめ

※ケーススタディ「アイファイ・ホールディングスのケースA・B」は、いずれかひとつのケース選択でも、4つの姿勢を全て学ぶことができます。
詳しくは弊社営業までお問い合わせください。

部長層に必須の“4つの姿勢”を確立することで 自ら成すべきことを決める

組織全体の発展を意図し、将来に渡って改革し続ける組織をつくるために必要な“4つの姿勢”の理解をつうじて、部長として自ら成すべきことを考えます。

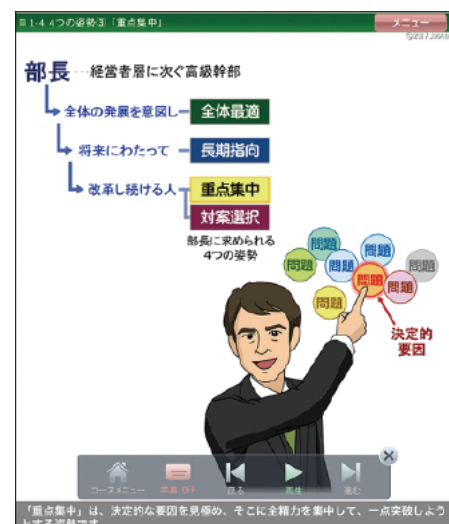


“4つの姿勢”の理解をつうじて 部長として成すべきことを決める

「全体最適」「長期指向」「重点集中」「対案選択」の4つの姿勢の理解を深めることで、部長として自らが取り組むべき重点課題を意思決定していきます。

部長としての意思決定を考える過程で 経営知識・思考方法の使い方が 身につく

部門経営者としての意思決定を迫る本格的なケーススタディに取り組むことで、経営・事業に参画し「意思決定」ができる部長をめざします。



※eラーニング「上級管理者コース」学習画面イメージ
eラーニングを事前に学習すると、より効果的です。